

第63回 歴史に学ぶ朝会



台湾の教科書に載っている日本人『八田與一』の遺徳



日本統治時代を知る多くの台湾人が賞賛してやまない「日本精神」。それは、かつて台湾にやってきた日本人が持っていた「公正」「勤勉」「信頼」「責任感」「正直」などの価値観を総称して台湾人自身が使い始めた言葉だ。

台湾の大恩人とされる、八田與一も、日本精神を發揮したその一人。台湾人の豊かさと幸せのため、ダム建設に邁進。植民地となっている台湾で日本人同等に扱い、台湾人から、信頼され、尊敬され、愛された。

與一は民族や国境を越えた存在として称えられ、戦後絶えることなく、與一の命日に慰霊祭が続けられている。今もなお、與一の生き様は台湾人の心に生きているのである。

▼第63回歴史に学ぶ朝会 大家族主義経営の原点 台湾の教科書に載っている日本人『八田與一』の遺徳

■日 程：1月14日（木）7：00～8：30（受付：6：50～）

■講 師：APRA 議長&感動経営コンサルタント 臥龍こと角田識之様

■会 場：物語コーポレーション 東京フォーラムオフィス（東京都港区南青山2-4-3）

■参加費：1000円

■お申込：kando@irie-kando.com へご連絡ください。

■主 催：関東APRA（エープラ）（事務局 ㈱入江感動経営研究所 TEL：048-423-9597）